

教職履修チェックシート <文学部 中学一種フランス語>

【66条の6に定める科目】

	必要最低単位数	早稲田大学設置科目の一例 ※()は設置箇所	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
			1年次	2年次	3年次	4年次以上	
66条の6	日本国憲法	2	「憲法」または「法学原論」(文)				
	体育(実技)	2	「スポーツ実習I・II」(オープン)				
	外国語コミュニケーション	2	「必修EGC」(文)				
	情報機器の操作	2	「基礎講義」(文)				

※教育実習実施前年度までに2領域以上の修得が必要です。

【教職に関する科目(必修)】

教育職員免許法施行規則に定める科目		必要最低単位数	早稲田大学設置科目の一例 ※()は設置箇所	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数				
				1年次	2年次	3年次	4年次以上					
第二欄	教育の意義及び教職の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	「教職概論」(教育)または「教職論」(文)			介護等体験前提条件	教育実習前提条件					
				第三欄	教育の基礎理論に関する科目	4	「教育基礎総論1」(教育)または「教育学概論」(文・文構) 「教育制度総論」(教育)または「教育制度論」(文構・文) ※注意(欄外を参照)				教育実習前提条件	
								2	「教育心理学」(教育)または「教育・学校心理学」(文構・文)			
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	1	「教育課程編成論」(教育)									
				6	1~3のいずれかに○をつける⇒ 「フランス語科教育法1・2・3」(教育)【各2単位】		1・2・3			1・2・3	3 ※1・2は教育実習前提条件	
						2	「道徳教育論」(教育)					
1	「特別活動論」(教育)											
		2	「教育方法・技術論」(教育)						教育実習前提条件			
				2	「生徒指導・進路指導論」(教育)							
2	「生徒理解と教育相談」(教育)											
		第五欄	教育実習			5	「教育実習演習(3週間)」(教育)					
				第六欄	教職実践演習			2	「教職実践演習」(教育)			
①「教職に関する科目(必修)」合計										31		

※「教育学概論1」と「教育制度論」、「教育基礎総論1」と「教育制度総論」はそれぞれセットとなっていますので、セットとなっている2科目の単位を修得してください。これ以外の組み合わせでの履修は不可とします。

※特別活動論は2019年度から単位数が変更となっております。2018年度以前に修得している場合、単位数が異なります。

【教科に関する科目(フランス語)】⇒必ず最新年度の「科目登録の手引き」に定められた通りに履修すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目		必要最低単位数	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
			1年次	2年次	3年次	4年次以上	
フランス語学	必修科目	4					
フランス文学	必修科目	8					
フランス語コミュニケーション	必修科目	4					
異文化理解	必修科目	4					
②「教科に関する科目(フランス語)」合計		20			※		

※教育実習にて当該教科を担当する場合、教育実習実施前年度までに16単位以上の修得が必要です。

【「教科又は教職に関する科目」および「教職に関する科目(選択)」】

		必要最低単位数	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
			1年次	2年次	3年次	4年次以上	
「介護体験実習講義」		2					
その他		—	科目名	科目名	科目名	科目名	
「その他」として修得した科目名を記載してください⇒							
③「教科又は教職に関する科目」および「教職に関する科目(選択)」合計		2					

【合計】 ※66条の6を除く

		必要最低単位数※	修得単位数【予定は()をつける】				合計修得(予定)単位数
			1年次	2年次	3年次	4年次以上	
①「教職に関する科目(必修)」合計		31					
②「教科に関する科目(フランス語)」合計		20					
③「教科又は教職に関する科目」および「教職に関する科目(選択)」合計		2					
④総合計		59					

※必修として定められた科目の単位をすべて含んだうえで、かつ①～④の必要最低単位数以上の修得が必要です。